

世界最高のりんごで青森を元気に

三村知事がりんご農家を督励

高品質りんごの安定生産に向け生産者の意識を高めようと7月10日、三村申吾青森県知事が市内のりんご園を訪れ、生産者を激励しました。

この日、三村知事が訪れたのは森田町の七戸久嗣さんの園地で、会場には福島市長や関係者、地元農家ら約80人が集まりました。三村知事は「青森のりんごを世界に売り込めるようになったのは、生産者の力があってこそ。皆さんが作る世界最高品質のりんごをしっかりと売るといふ決意で徹底した販売を行っていきます。一緒にがんばりましょう」と生産者を激励。七戸さんの指導で摘果作業も体験し、適正着果を呼びかけていました。



摘果作業を体験し「成らせすぎは許さない！」と呼びかける三村知事

生産者との意見交換では、市りんご共同防除連絡協議会の葛西範正会長が「共同防除組織の維持・強化について支援を強化してほしい」と要望したのに対し、三村知事は「共防組織はりんご生産における地域の核。市と連携して守っていききたい」との姿勢を示しました。また、VIC・ウーマン（農山漁村女性リーダー）の七戸百合子さんが「これまで以上に女性起業活動やVIC・ウーマンの活動に対しての指導・助言をお願いしたい」と伝えると、三村知事は「女性ならではの視点や発想による地域活動を支援していく」と答えていました。



さらなる支援を要望する七戸百合子さん

命の大切さを学ぶ

森田中学生が

「赤ちゃんふれあい教室」



育児体験を通して、命の暖かさを体感した森田中学校の生徒たち



赤ちゃんとのふれあいを通じて命の大切さを学んでもらおうと7月13日、市民健康づくりセンターで赤ちゃんふれあい教室が開催され、森田中学校（秋元裕教校長）の3年生31人が育児を体験しました。

この日は18組の親子が参加し、5班に分かれてふれあいスタート。はじめは緊張した手つきで接していた生徒たちでしたが、赤ちゃんのかわいい表情に癒されながら、上手に抱っこやミルクをあげられるようになっていきました。

生徒の米谷秀斗さんは「泣いて大変だったけど、あやしたら寝てくれてうれしかった。重くて腕がきついけどかわいい」と命の重みを感じていました。

工藤恋羽ちゃんの母親・美穂さんは「子育ては1人でするものではありません。将来親になったら、家族や地域の方に助けを借りながらがんばってください」と未来のパパママにエールを送っていました。



7月6日は「つがる市メロンの日」

市内でおいしいメロンをPR

つがるブランド推進会議（会長・福島市長）が「つがる市メロンの日」と定めた7月6日、市内の保育所や小中学校の給食に市産のメロンが登場しました。



この日は、ハウスで栽培した主力品種「タカミ」を約520玉用意し、教職員も含め3,655人に振る舞われました。瑞穂小学校では、ランチルームに1年生と5年生76人が集合し、みんなで甘いメロンを堪能。つがるちゃんも登場し、メロンの日をPRしていました。5年生の木村結那さんは「とても甘くておいしかった。夏はこれからなのでたくさん食べたい」とメロンの季節を楽しみにしていました。

また、市内のスーパーや直売所11カ所ではタカミを特別価格1個666円で販売。用意された1,000玉が飛ぶように売れ、完売する店舗が続出しました。

五所川原市から市農産物直売所（柏）を訪れた三浦節子さんは6個入り1箱を購入。「毎年つがる市のメロンを買いに来ます。息子夫婦が帰郷するのでお土産に持たせるつもり」と話していました。



盛り上がった瑞穂小学校のランチルーム

自慢のメロンを全国へ発信

つがるブランド認定「メロン出荷式」

つがるブランド認定メロンの出荷式が7月18日、ごしょつがる農協木造総合支店で開催され、関係者ら約40人が出荷を祝いました。この日出荷されたのは、名古屋、大阪の市場へ向けた糖度15度以上のタカミメロン約3,000ケース。式では、銀杏ヶ丘こども園の園児が「安全運転で大切に育てたメロンを届けてくださいね」とトラックの運転手に花束を贈呈。倉光副市長や来賓らのテープカットで出荷を祝い、関係者一同でメロンを乗せたトラックの出発を見送りました。

つがるメロン協議会の会長を務めるごしょつがる農協の白戸勝一代表理事組合長は「全国へ自信を持って売れるつがる市のメロン。さらなるブランド化で価値を高めていきたい」と話していました。



運転手に花束を贈る園児



ブランド認定シールを貼る倉光副市長

メロンの盗難は許さない!

7月18日、生産者が丹精込めて育てた農産物を盗難被害から守る「メロンロードパトロール」が始まりました。

これは、毎年メロンやスイカの収穫時期に合わせて市防犯協会、警察署、防犯指導隊などが連携して行っているものです。

市役所前で行われた出動式では、市防犯協会副会長の箱田鐵雄さんが「自分たちが築き上げたブランドは自分たちで守るという意識のもと、盗難防止に全力を挙げていただくをお願いします」と隊員を激励。防犯指導隊の手嶋成信総隊長の決意表明のあと、約20人の隊員がパトロールを行いました。

メロンロードパトロール隊結成



メロン畑を巡回する古川昭治つがる警察署長ら